

## 1年間がんばったこと

1年松組 三羽 葵

わたしが、1年間がんばったことは、ともだちとなかよくしたことです。小学校にはいるまえは、ともだちが少なかったのですが、小学校にはいってから、ともだちがたくさんになりました。すごくうれしかったです。2年生になっても、ともだちとなかよくしたいです。

1年間、ともだちといっしょでたのしかったことは、ひがし山どうしょくぶつえんにいったとき、みんなでどうぶつをみたり、おべんとうをみせあってたべたけいけんです。こうしたけいけんから、ともだちは大せつなんだなあとおもいました。いままでともだちを大せつにできてよかったとおもいました。

もうすぐ1年がすぎようとしています。また新しい1年が始まろうとしています。らい年もステキな1年になってほしいとおもいます。1年生のともだち、ありがとう。2年生になってもずっとなかよしでいたいです。



## できるようになったこと

1年竹組 寺本 七静

ぼくは、かん字がかけるようになりました。はじめは、なにもしなかったけど、1年生になってからかん字がいっぱいわかりました。学校では、かきじゅんをたしかめてかき、いえでは、ノートにいてねいな字でれんしゅうしました。

かん字がわかるとたのしいです。これからも、かん字をしっていききたいです。



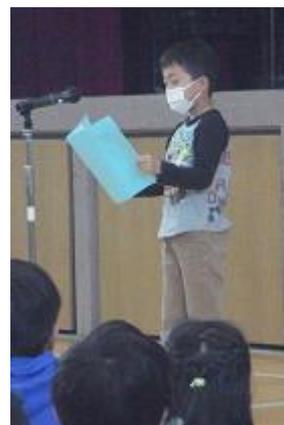
## がんばったこと

1年梅組 丹下 翔太

ぼくは、この1年かんでわかるようになったことがあります。それは、そうじとじゅぎょうのことです。さいしょは、そうじってなんのためにやるかわからなかったけど、2がつきぐらいになって、やっとそうじをなんのためにやるわかりました。いろいろなところをきれいにするためにがんばってそうじをすると、まわりがきれいになるだけでなく、こころもきれいになったきぶんになりました。人がやりたくないところもそうじをすれば、もっときれいになりました。

つぎに、じゅぎょうです。じゅぎょうも、さいしょはなんのためにやるのかわからなかったけど、じゅぎょうをたくさんやったら、じゅぎょうは、こころとじぶんをせいちょうさせるためにやるんだとわかりました。じゅぎょうをやらないと、おとなになってからこまったりおくれたりするから、小さいころにしっかりやらないとだめだってわかりました。そして、1がっきのはんぶんぐらいからそれまでよりちゃんとやったら、さんすうやこくごのもんだいが、すらすらできるようになりました。

2年生になっても、べんきょうとそうじをがんばりたいです。



## 5年生で学んだこと

5年松組 加藤 壮真

ぼくは、5年生の1年間多くのことに夢中になって取り組んできました。

その中で、一番心に残っているのは野外活動です。カレー作りや砂の造形など、班の人と協力することで、とてもおいしい味になったり、すごい作品ができあがったりしました。協力の大切さが改めて分かりました。また委員会では、前期は児童会役員、後期は生活委員として、今まで6年生がやっていた仕事を見てまねをし、桜小のために仕事をがんばってきました。つらいときもありましたが、今までの高学年の人たちに追いつこうとがんばりました。仲間といっしょに活動してきたので楽しかったです。

そして部活では、選手になったこともあり、学校を代表してがんばることができました。6年生のあきらめない姿を見て、来年ぼくたちも最後まであきらめずに、さらにがんばろうと思いました。

勉強でも、5年生になってむずかしくなったけど、自分で考え仲間と意見を交わしながら最後まであきらめずに問題を解くことができました。

運動会の組体そうでも、しっかりと力を出すことができました。練習すること、努力すること、仲間を信じることで、とてもすごいパワーが出せることが分かりました。

夢中になって取り組んできた思い出を大切に、6年生でもがんばりたいです。

6年生の中でちょうせんしたい一つ目は、今までがんばってきた6年生のまねをして、それにプラス、今年の6年生をぬくぐらいの気持ちでがんばっていきたいです。二つ目は、来年度から入ってくる1年生に「この学校の6年生はやさしいね。この6年生といると楽しいね」と言われるぐらい、やさしくせっしてあげたいです。

一つ目の理由は、今の6年生を見て、かっこいいと思ったからです。今年の6年生は、今まで以上にいつも低学年にはやさしいし、強くおこったりしないので、1年生は笑顔がいっぱいでした。ぼくはそんな6年生を見て、とても高いレベルだなと思いました。

二つ目の理由は、さっきも言いましたが、1年生が笑顔いっぱ



いになっていたからです。毎年1年生が入ってきますが、いつも明るく、いつも笑顔にさせるということは、とてもむずかしいと思います。でもぼくたちは、そのむずかしいことにちょうせんする、それが6年生の仕事なのです。毎日1年生と会いますが、会ったときには笑顔でいてくれて、「この学校は楽しいね！」と1年生に言われたら、それがぼくの中では一番いいと思います。

最高学年として責任をもち、いろんな行動をとってみんなで助け合っていくことが大切です。今まで以上に努力してコミュニケーションをいっぱいにとって、楽しく、明るく、元気に過ごしたいです。

## 6年生になったら

5年竹組 山田 芽生

わたしには、6年生になったら、してみたいことが3つあります。一つ目は、委員会活動で、集会などさまざまな活動の提案をすることです。二つ目は、苦手なことに取り組んで、苦手なことを少しでも減らしていくことです。三つ目は、読書をする回数を増やし、読書の時間を今よりも長くしていくことです。これらの三つが6年生になったらしてみたいことです。

一つ目の理由は、今までたくさんの集会を行ったり見たりしてきて、集会はみんなを楽しませながら、考えや願いを伝えるということが分かり、わたしの提案からみんなが楽しめ、過ごしやすい学校を作るための役に立てたらいいと思ったからです。5年生になって委員会の大変さが分かりました。だからこそ、活動に対する提案をし、みんなを楽しませたいと思いました。二つ目の理由は、5年生になり、だんだんと算数がむずかしくなってきた、きっと6年生も大変だろうなと思いました。だから、算数がとても苦手になり、ついていけなくなるとこまるので、わたしは、苦手をなくしたいという思いから、苦手なことに取り組み、自主勉強をするなどがんばりたいと思いました。他にも理由があります。それは、問題を速く解きたいからです。算数・社会・理科・国語などのテストでは、時間を気にしながら問題を速く解くことが大切だと思います。そんなときに、速く問題を解くことができないとこまるから、苦手を少しでもなくしていきたいです。三つ目の理由は、知識を深めていくためです。6年生になると歴史の勉強が始まるそうです。だから、歴史の本を読んだり、伝記を読んだりしていきたいです。伝記が読みたい理由はもう一つあります。それは、自分の生き方と比べ、目標としたり、これからの自分を考えたりしていきたいからです。そうすることにより、6年生にむけてがんばれると思います。

自分で提案することは、少しむずかしいかもしれないけれど、提案をすることにより、楽しめる人がいるなら、それはするべきだと思います。苦手なことに力を入れたり、知識を深めたり、自分にはとても大変で、できるか心配なところもあります。でも、自分で6年生になったらやると決めたことだし、これらのことをすると、いいことがたくさんあります。なので、がんばっていききたいと思います。

